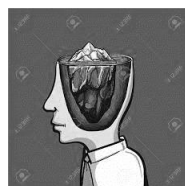


我ら50期ここにあり



1つのものは色々な人の仕事でできている

たとえばお腹が空いたのでラーメン店に入り、ラーメンを頼んだとします。少しすると、注文したラーメンが出てきました。どんな人の仕事のおかげで、ラーメンはあなたの目の前にあるのでしょうか？「ラーメンを作ってくれた料理人と、テーブルまで持ってきてくれた店員」という答えは勿論正しいです。いちばん見えやすい仕事ですね。でも、そうした人たちの仕事だけではラーメンは提供されません。ラーメンには麺やスープのほか、ねぎ、のり、チャーシューなど多くの具材があり、それらを生産する人、船やトラックなどで運ぶ人の仕事も関わっています。麺、肉、野菜、調味料などは、それぞれが違う生産者ですし、それらをお店へと運ぶのも、それぞれ別の会社の人かも知れません。さらに、麺の原料の小麦はオーストラリアの農家が育てたものかも知れませんが、チャーシューになった豚はアメリカの養豚家が育てたものかも知れません。そうすると、目の前にあるラーメンは、日本国内だけでなく世界中の人達の仕事によってできているといえます。こうして私たちは、日本や世界で働く誰かと、知らず知らずのうちに繋がっているのです。



潜在(せんざい)意識と顕在(けんざい)意識

能力には2つあって、今できることが顕在能力、潜在能力はまだできていないことをいいます。何回も何回も繰り返してやってきたことは無意識にそうなるようになっていってしまうことがあります。自動反応も含めてそういう無意識の領域が潜在能力になっていきます。身体や心がその反応で動くような習慣になってしまっていて、反復して考えて来た結果そうなるのです。考えたり行動したりすることを反復して行動を変えていくと、習慣が変わってきます。そうなれば顕在意識を積み重ねればそれが潜在意識に成長していきます。



答えは1つではないことを学ぶ

「雪がとけたら何になりますか？」という質問の答えを考えてください。・・・「水になる」「川になる」「水たまりになる」みたいな答えが多いと思います。あるクラスの社会の授業で話したとき、「春になる」と答えてくれた人がいました。素敵な答えですね。世間や親や先生や大人の考えている正解を探してはそんな答えはでないなと思いました。“他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる”という名言がある。「うわあ～すごい言葉やな」と思っていたけど、10数年後に本で“自分の過去なんて好きに変えてしまえばいい”という言葉に出会った。「これも正しい！」と感じました。この2つは正反対だけど、どちらとも正しい。「過去の失敗をずっと持ち続ける」「あの時に自分の気持ちを上手く表現できなかったことを覚えている」「負けた記憶を引きずっている」そのことで自分がしんどくなるんだったら、もうそんなこと勝ったことにしといたらいいいねんやって、自分の中で失敗なかなかったことにして切り替えて次に進めばいいねん。誰にも迷惑が掛からなければ、自分の記憶や経験をすり替えてしまえばいいこともあるねん。矛盾することもあるし、その時の自分の状態や、周りの環境によって変えなければならないことと、どんな時でも変えてはいけないことがある。要は、自分で考えて、自分の中から出てきた思いで行動してほしい。誰かが用意した答えに自分を合わせていくのではなくて、誰にも迷惑をかけない、誰にも心配をかけない、周りの人のためになる、自分もみんなも幸せにできることを見つけて生きていける人になってほしい。



今日は早めに

今日は早めに帰って、明日の準備を早めに済ませて心も身体も早めに休めましょう。できれば、外が明るいうちに机の周りや自分が生活している空間を整理整頓しておきましょう。布団にくるまったら、頭の中で修学旅行に行ってください。明日の朝起きたらどう過ごして、家を出るまでどう動くか、新大阪から新幹線に乗って…という具合に考えて、23日の夜にまたこうして床に就くところまでを頭や気持ちでたどってください。楽しい気持ちになってきましたね。明日からみんな思いっきり楽しむぞおい！